

組合員向け優待割引案内

スズキ労連は「東京ディズニーリゾートマジックキングダムクラブ」に登録しました!



マジックキングダムクラブは、ご加入いただいた企業のメンバーとご家族の方々が東京ディズニーリゾート内のテーマパークと、その関係施設を特別価格でご利用いただける、ユニークなレクリエーション組織です。



特典

特典1 東京ディズニーランドや、東京ディズニーシーでご利用いただけるクラブメンバ-用のパスポートを、年間を通し特別価格で購入できます。購入の際に際にメンバーシップカードを窓口にご提示ください。

マジックキングダムクラブ・パスポート価格 (2008年7月1日現在)

大人 (18才以上)	5,400円 (一般価格 5,800円)
中人 (中学・高校生、12~17才)	4,600円 (一般価格 5,000円)
小人 (幼児・小学生、4~11才)	3,700円 (一般価格 3,900円)

特典2 ディズニーホテル、東京ディズニーリゾート・オフィシャルホテル、東京ディズニーリゾート・パートナーホテルで宿泊割引が受けられます。ご予約の際はメンバーである旨を告げ、チェックインの際にメンバーシップカードをご提示ください。

特典3 イクスピアリの一部店舗にて5000円以上お買い上げの場合に5%の割引になります。お会計の際にメンバーシップカードをご提示ください。マジックキングダムクラブステッカーの表示のある店舗にてご利用いただけます。

特典4 シネマイクスピアリで割引が受けられます。メンバーシップカードをご提示の上ご利用ください。



マジックキングダムのメンバーに入会するともらえるのが上図のメンバーシップカードです。このカードを提示することで左記特典を受けることができます。

メンバー入会はもちろん無料!!

申し込みは組合書記局または組合役員まで

- *入会できるのは組合員のみとなります。(非組合員・家族は対象外)
- *スズキ労組・スズキ販労は、独自でマジックキングダムに入会しておりますので、単組ごとでの入会手続きをお願いいたします。

TOKYO Disney RESORT

2008年6・7月 第314号



スズキ労連

2008年
6・7月号

静岡県浜松市南区増楽町20
電話 (053) 447-3079
スズキ関連労働組合連合会

発行人 加藤 幸博
編集人 光田 玄

3967名から ご応募いただきました! 08' 安全標語 入賞作品発表!



山本寿中央執行委員(左)から最優秀賞の浜松パイプ労組 香田友紀さん(右)への表彰。おめでとうございます!

本年度も、厚生労働省による「全国安全週間・7月1日(日)~7月7日(土)」が実施。全国安全週間は労働災害防止と安全意識の高揚、安全活動の定着を図ることを目的としています。

スズキ労連では5・6月を準備期間、7月を労働安全強化月間と設定し、労働災害撲滅に向けて運動を推進して行くため、『安全標語』を募集いたしました。今回は3,967名から応募があり、その後、労連役員で審査を行なった結果、下記26作品が入賞いたしました! なお、最優秀賞・優秀賞の6作品を掲載したポスターが7月の安全強化月間中に各職場に掲示されます。強化月間だけではなく常日頃から注意喚起を行い「職場の危険ゼロ」に取り組みしましょう!

2008年安全標語入賞作品 (敬称略)

優秀賞 (5名)	危険箇所 見つけたその時すぐ行動 後にまわさずその場で改善 ホウ・レン・ソウ(報告・連絡・相談) 基本にもどって 今一度 慌てるな 急ぐ時こそ 指差呼称 安全確認 忘れずに 慣れた作業も 甘く見ず 指差し呼称で 安全作業 異常時はKYノートで危険予知 書いた数だけ 無災害	スズキ部品富山労働組合 スズキ販売労働組合(静岡支部) スズキ輸送梱包労働組合 浜松パイプ労働組合 ズキ部品浜松労働組合	萩原 隼 小澤 英明 中村 修智 野田 伸次 石川 智宏
-----------------	--	--	--

佳作 (20名)	元気なあいさつ きれいな職場 安全作業は良い環境から 保護具のみだれは心のみだれ 始業点検 保護具もチェック 安全職場 全員参加の 5Sから! きれいな職場で無災害! みんなで築く明るい職場、未来のための健康職場 5Sは、危険箇所の、洗い出し キレイな職場で無災害。 今日も無事故で 笑顔の帰宅 見て取れる、保護具の緩みは気の緩みしっかり締めよう保護具と意識 アゴヒモ、靴ヒモ、心のヒモ 緩めないで! あなたの安全意識 慣れたころ 危険が潜む 身の回り 初心に戻り 危険撲滅 あせる気持ちかゲガを呼ぶ、ゆとりを持って安全第一 災害は、時間と場所も関係ない! 基本作業で0災害 見たつもり やったつもりは落とし穴 今一度最後のチェック安全作業 正しい手順とルールを守り、事故無し、怪我無し、安全職場。 慣れた作業も 手順を守り 今日無事故の 明るい職場 一呼吸 体を動かす その前に 危険を予知して 安全確認 ちょっと待て! ホントにそれで大丈夫? 声を掛け合いゼロ災害 安全意識と危険予知 みんなで取り組むKY運動 みんなで持とう安全意識 ヒヤリとしたら「ホウ」「レン」「ソウ」! 体につける保護用具 心につける安全意識 予知して防いで安全職場 「これくらい」思う気持ちが事故を呼ぶ 小さな基本大きな安全	スズキ労働組合(相良支部) 平岡ボデー労働組合 スズキ輸送梱包労働組合 ベルソニカ労働組合 スズキ部品秋田労働組合 エステック労働組合 スズキ労働組合(湖西支部) スズキ部品富山労働組合 スズキ輸送梱包労働組合 ベルソニカ労働組合 スズキ部品秋田労働組合 スズキ部品秋田労働組合 スズキ部品秋田労働組合 エステック労働組合 エステック労働組合 スズキ労働組合(相良支部) スズキ労働組合(相良支部) スズキ労働組合(磐田支部) スズキ精密工業労働組合 スズキ部品富山労働組合	大塚 良美 鈴木 敬範 鈴木 佐紀子 飯田 敏郎 伊藤 菊夫 岩元 孝夫 中嶋 大和 林 邦彦 内藤 勲 大石 和彦 伊藤 昇 今野 祐雄 工藤 貞治 山中 勇二 太田 賢司 名波 博規 内田 一郎 氏原 浩二 増田 正 中島 正信
-----------------	---	--	---



スズキ労連 今後の主な予定

- [7月]**
18日(金) スズキ労連 労使会議 (グランドホテル浜松)
- [9月]**
2日(火) IMF-JC大会
4日(木)~5日(金) 自動車総連 第37回大会
- 14日(日) スズキ労連 第37回大会 (浜松市 プレスタワー)
- 21日(日) スズキ労働組合 第60回大会 (遠鉄ホテルエンパイア)

**[スズキ労連] 機関誌に対するご意見・ご要望が
ございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。**

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20 (スズキ労働会館内)
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : mitsuda@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇ <http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連活動状況(労連ブログ)・スズキ労連機関紙
閲覧パスワード…saw2007

【編集後記】海外調査団としてインド・タイに行って参りました。
帰国して思うこと。「和食最高!」(次長2)

私の提言 第5回連合論文募集

「連合は、2004年より山田精吾顕彰会の論文募集事業を継承し、論文を募集しています。今年も労働運動への提言として第5回目の論文を募集します。引き続き、みなさんの積極的なご応募をお待ちしています。

- 優秀論文(2~3編) 表彰盾と副賞 30万円
- 佳作論文(3~4編) 表彰盾と副賞 5万円
- *連合第53回中央委員会(2008年10月2日)で表彰予定

応募要項

論文内容 今後の労働運動に生かすことのできる具体的な考えや要望、体験談や改善提案など(未発表のもの)
[6000字~8000字程度 *上限10000字]
論文の書式 電子媒体(E-MAIL、FD、CDなど)による応募
応募資格 応募資格は問いません
締め切り 2008年8月7日(木) スズキ労連事務局必着
↓詳細は教育文化協会ホームページでご確認下さい↓
<http://www.rengo-ilec.or.jp/>



各種優待契約施設の割引券は労連ホームページの
Topページよりプリントアウトできます。
パスワード:saw2007

自動車総連・スズキ労連

2008年福祉カンパのお願い

7月1日(火)～7月21日(月)

自動車総連・スズキ労連は、毎年夏季の一時金支給時期に福祉カンパを展開しています。私達は「社会を担う労働組合が社会的責任の一端を果たすためハンディキャップを負っている人たちに暖かい援助の手を差し伸べ、さらには国全体としての福祉政策の充実を訴求していこう」との考えに立ち福祉活動を進めており、そのひとつの形が「福祉カンパ活動」です。福祉カンパ活動も30年を超え、これまでに募金累計は46.4億円余にも上がっており、この金額をもとに社会福祉施設・団体への物品及び車両寄贈、国際福祉活動・国内ボランティア活動を進めている福祉団体への支援、ハンディキャップを持った人たちとのスポーツを通じたふれあい行動等、様々な分野で活動を進めています。昨年の福祉カンパでは皆様のご協力により、スズキ労連で約412万円が集まりました。今年も昨年同様、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

福祉カンパ金の使途

1. 社会福祉施設・団体への車両および物品寄贈
2. 「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」の開催
3. その他福祉団体への支援
4. 連合愛のカンパへの拠出

カンパ袋が職場を回りますのでご協力、よろしくお願いいたします。



RENGO 連合 日本労働組合総連合会

2008 平和行動 in 沖縄 平和の声を合わせて高々と。



23日の平和集いで挨拶をした連合・高木会長。沖縄戦の惨劇、米軍基地問題は、沖縄だけの問題ではないことを強く訴えた。

連合は、6月23日の「沖縄慰霊の日」にあわせて、23、24日に沖縄県下で平和行動を実施し、全国からおよそ1600名が集まりました。スズキ労連からは光田事務局次長が参加しました。

23日の平和式典で主催者を代表してあいさつした連合・高木剛会長は、「戦後63年がたち、世界中で未だに紛争が絶えないが、平和の尊さ、大切さを深く心に刻み、世界平和のためにも、沖縄戦の惨劇を決して忘れてはいけない。この問題は、米軍基地がある所だけの問題ではなく、他の地域の人々も、世論形成のために運動に参加してほしい。相手国であるアメリカの労働組合(AFL-CIO)にも、米軍基地問題について理解してもらうため、定期協議でも議題に取り上げたい。」と強調しました。また、連合沖縄の仲村信正会長は、日米地位協定の抜本的見直しや米軍基地の整理・縮小について、引き続き取り組みを強化する決意を述べました。連合北海道の三浦正道副会長と連合沖縄・沖教組の宮城淳さんの平和メッセージの後、連合沖縄の仲村会長より、次の平和行動の地、連合広島へピースフラッグが手渡され、沖縄からの平和アピールが採択されました。

24日のピーアールフィールドワークでは激戦を極めた南部戦線の各戦跡、また移設問題で揺れる普天間基地をめぐる、沖縄戦の悲劇、そして今現在においても沖縄を悩ませる米軍基地問題について学びました。夕刻には在日米軍基地の整理縮小、日米地位協定の抜本見直しを求めて集会を実施後、国際通りでデモ行進を行い、平和行動を締めくくりました。

大事なことはこの平和行動を通じて学んだことや感じたことをいかに労連の仲間と共有できるかだと思います。今後も連合の平和行動は広島・長崎・根室と続き、労連からも積極的に参加する予定ですが、その都度、学んだことを機関誌等でお伝えして、平和を求める声を上げていこうと考えています。



移設問題で揺れる普天間基地を高台から視察。住宅密集地にポツカリと基地がある様子は異様であった。



国際通りのデモ行進には約900名が参加。米軍基地の整理縮小や日米地位協定の抜本見直しを訴えた。

スズキ労連第11次海外調査団 インド・タイ を訪問。

スズキ労連第11次海外調査は古川事務局長を団長として各単組支部からの調査員と事務局あわせ総勢11名で調査団を編成し、6月1日(日)～6月8日(日)にかけてインド・タイの2ヶ国を訪問、スズキグループ企業の工場および工場建設予定地の調査を行いました。今回の調査は、スズキグループが両国において事業展開している状況を踏まえ、駐在員や企業役員との情報交換により、工場または建設予定地の現状調査・周辺環境・労働環境・労使関係について調査を行ない、組合役員として今後の国際連帯活動に活かすとともに、自社の進出や今後の展開に活かせる方策を探ることを目的としております。調査を無事終え、調査団一同、スズキグループの海外展開についての見識を一層深めることができました。ご対応いただいた各企業の役員、駐在員の皆様には心より感謝申し上げます。なお調査の詳細は、調査団員からの報告をまとめた報告書を冊子にして、加盟単組支部にも配布させていただく予定です。



タイのスズキ四輪新工場予定地に並ぶ調査団(写真左)8日間におよぶ調査、お疲れ様でした。

第36期ヤングリーダー研修会開催!

41名が参加。

第36期ヤングリーダー研修会が6月21日(土)・22日(日)の2日間にわたって、湖西市「ヴィラハマナリゾート&シー」で開催され、各単組・支部から41名の若い参加者が集まりました。

労金・全労済の研修後、アイスブレイクゲームですっきり打ち解けた参加者たちは、8グループに分かれて「労働組合の活動」についてや「ヤングリーダーの活動でやってみたいこと・労働組合を通じ実現したいこと」をグループごとに討議。翌日22日には討議した内容に基づいてグループ対抗のディベート大会を開催しました。賛成・反対に分かれる本来のディベートではなく、自分達の考えを相手にいかに強く訴えられるかを競うポジティブ討論会のような形ではありましたが、各グループとも相手グループに鋭い質問を飛ばし、レベルの高い舌戦が繰り広げられました。

なかなかハードなスケジュールの研修でしたが、参加者たちは普段めったに交流のない他単組支部の参加者との交流が深まったことに非常に満足している様子でした。ここで芽生えた労連内の横の連携を大切にしてもらいたいですね。



グループに分かれて作業



グループ対抗ディベート大会の様子。

ブログをつくろう! 2008広報セミナー開催!

5月18日(日)、昨年9月に開催した「2007広報セミナー」の後編として「2008広報セミナー」が浜松市地域情報センターで開催されました。

「2007…」は紙媒体の作成を通じた広報の基本を学ぶセミナーでしたが、今回はその基本を踏まえたうえでのステップアップという位置づけで、ITメディアセミナー「ブログをつくろう!」をテーマに開催、参加者には組合ブログ作りにチャレンジしてもらいました。

17名の参加者は、まず、ブログの基本をテキストで学習した後、早速、ブログ作りを実践しました。普段からブログを作っている方から、ブログとHPの違いが分からないといった方まで、参加者のレベルは様々で、かなり悪戦苦闘されている様子も見受けられましたが、全員なんとか時間内に記事を書き上げ、各ブログをモニターに映しながら発表することができました。短時間で簡単に見栄えよく作成できるブログに、参加者からは感心の声がかかりましたが、大切なのは継続性。参加者にはこのセミナーで学んだスキルを磨いていただき、即応性のある、情報満載の組合ブログをアップしていただければと思います。



会場の浜松市地域情報センター研修室には計19台のパソコンがあり、ITメディアのセミナーもついでこの会場です。

スズキ労連 組織内議員「田口 章」は考える。

≪「田口章ブログ」6月23日記事より抜粋≫

同化と統合と共生と

日伯移民100周年事業がマスコミをにぎわしていますね。さて、「多文化共生」という言葉はすいぶん一般的になってきましたが、なんとなく聞こえのイイ、この言葉のスマートさの中で、現場のドロドロした部分が見逃されてしまっていないか…。私自身、あまり気にもせずに、「多文化共生」という言葉を使ってきましたが、今日、静岡文化芸術大学の池上教授のお話を聞いていて、そんな気がしてきました。外国人の受け入れにあたっては、「同化」、「統合」、「共生」この3つの考え方があるようです。

- ★同化 (assimilation)

“同化”は、アメリカ式だそうです。アメリカを“人種の坩堝(るつぼ)”ということがありますが、まさに字のごとく、どこから来た人でも、ドロドロに溶かして、同じ仲間になってしまうということでしょうか…。郷に入っては郷に従え”というのがこれにあたります。「日本にきたら日本語を話すのが当たり前だ」と思っている人は、“同化政策”を支持しているって事ですね。
- ★社会的統合 (social integration)

先月会ったある人は“社会的統合”という言葉を使っていました。その人が言うには、「欧州」では、東欧やアフリカ系移民の受け入れにあたり、政府として“統合政策”を打ち出し、移民政策を進めたそうです。“統合”は、外国人がその国で暮らしていける力を身につけること。そのために必要な最低条件、すなわち「言葉」、「社会保障」、「教育」を、国が用意し、外国人自身も努力する中で生活力をつけていくということです。まさにこれから、日本がやっていくこととしていることです。
- ★多文化共生 (英語はナイ)

それをさらに進めたものが“共生”。“共生”は元は生物用語で、インゴキョクとクマノミの例などが有名です。また90年代からは「環境との共生」などと使われていました。これから私たちがめざす“多文化共生”モデルのひとつにオーストラリアがあるといえます。オーストラリアは多くの国から移民を受け入れており、他国の文化を受け入れる国民性や社会文化が備わっているそうです(詳しくは池上さんが研究しているようです。また調べてみます)。さて、今の日本、そして浜松はどうでしょうか。日本には、3つの壁があるといえます。「言葉の壁」、「制度(法律)の壁」、「心の壁」の3つです。“統合政策”に必要な条件も不十分な中、国の果たすべき役割・責任は多大です、私たちが声を大きくして求める必要があります。さらに、浜松が“共生”を標榜していくには、国に頼らないフロントランナーとしての施策、あるいは集住都市としてのα施策や、「心のカベ」をなくす取り組みが必要ですね。



「おもしるきこともなき世をおもしろく」今より早いときはない」がモットーです。浜松市議会議員 田口 章

田口議員のマスコットキャラクターが生まれました。

浜松市議会議員1年生「田口 章」です。民間企業23年間のサラリーマンの視点で、企業人として、生活者として、10年、20年後の浜松のために、身近な政治改革にチャレンジします。

田口章の「創ろう! 元気な浜松」

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

浜松市政から身近な政治問題、プライベート(?)まで田口が気にしていること、考えていることがよく分かります。コメントも書き込めますので、皆様のご意見をどしどしお寄せ下さい!

※「後援会だより」「メールマガジン」のバックナンバーも閲覧できるようになりました。

労連HPからもアクセスできます。

